

生活衛生関係営業の景気動向等調査結果

－2014年4～6月期－

I 景気の動向

持ち直しの動きが続いている生活衛生関係営業の景況

今期（2014年4～6月期）の売上、採算、業況判断の各D Iは、▲14.6（前期比9.4ポイント上昇）、▲3.0（同9.5ポイント上昇）、▲12.7（同16.4ポイント上昇）となりました。前年同期に対しては、売上D Iは8.1ポイント、採算D Iは4.1ポイント、業況判断D Iは2.4ポイント上昇しました。いずれも5期連続で前年同期を上回りました。

生活衛生関係営業の景況は、持ち直しの動きが続いています。

さらに、来期の売上、業況判断D I見通しは▲9.0、▲12.1と、それぞれ5.6ポイント、0.6ポイントの上昇を見込んでいます。

（注）D I＝良い（増加・黒字・好転）企業割合－悪い（減少・赤字・悪化）企業割合

調査時点	2014年6月下旬			
調査方法	個別訪問面接			
調査対象	生活衛生関係営業 3,220 企業			
有効回答企業数	3,074 企業（回答率 95.5%）			
（業種内訳）	飲食業	1,471 企業	映画館	53 企業
	食肉・食鳥肉販売業	147 企業	ホテル・旅館業	168 企業
	氷雪販売業	58 企業	公衆浴場業	112 企業
	理容業	369 企業	クリーニング業	255 企業
	美容業	441 企業		

この調査は、全国的生活衛生関係営業の主な業種について、その景気や設備投資の動向などを把握するため、定期的に（年4回）実施しているものです。

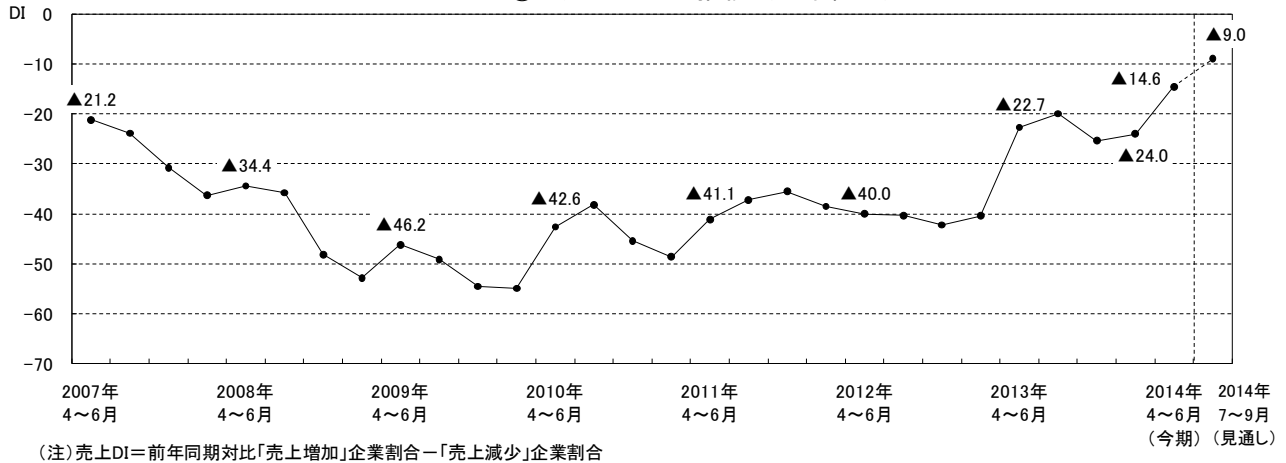
【本調査における留意事項】

- ・2012年4～6月期調査時点で調査対象企業の見直しが行われている。
- ・比率の算出にあたっては、無回答を除いたものを母数としている。

1. 売上

- 売上DIは、前期から9.4ポイント上昇して▲14.6となり、前年同期に対しては8.1ポイント上回りました。5期連続で前年同期の水準を上回りました。
来期の見通しは、▲9.0となり、5.6ポイントの上昇を見込んでいます。

図 I - 1 - ① 売上DIの推移 (全業種計)



- 業種別にみると、前期に比べ、「飲食業」「食肉・食鳥肉販売業」「冰雪販売業」「理容業」「美容業」「映画館」「ホテル・旅館業」「クリーニング業」の8業種で上昇しました。前年同期に対しては、「飲食業」「食肉・食鳥肉販売業」「冰雪販売業」「理容業」「映画館」「ホテル・旅館業」「クリーニング業」の7業種で上回りました。来期の見通しは、「飲食業」「食肉・食鳥肉販売業」「冰雪販売業」「理容業」「美容業」「ホテル・旅館業」の6業種で上昇を見込んでいます。
- 飲食業の業種別では、前期に比べ、「そば・うどん店」「中華料理店」「すし店」「料理店」「喫茶店」「その他飲食店」の6業種で上昇しました。前年同期に対しては、「そば・うどん店」「中華料理店」「すし店」「料理店」「その他飲食店」の5業種で前年同期の水準を上回りました。来期の見通しは、全業種で上昇を見込んでいます。

図 I - 1 - ② 業種別売上DIの推移 (飲食業を除く)

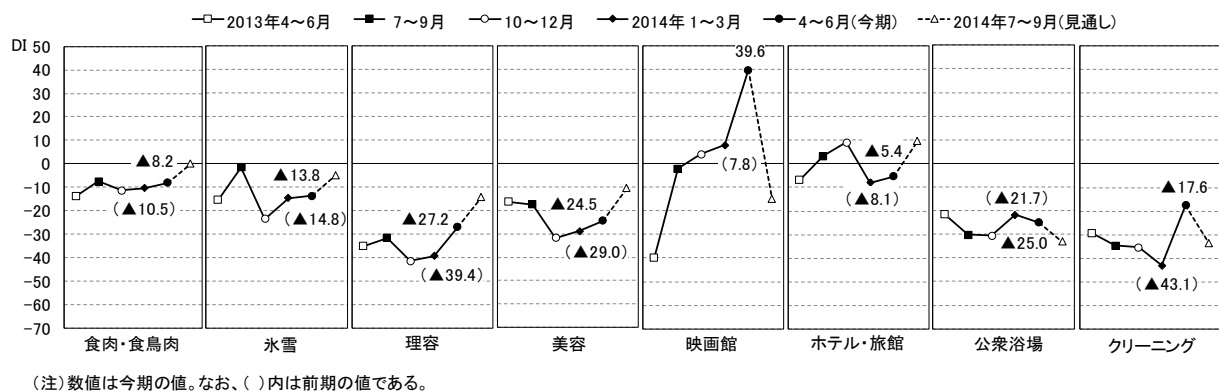
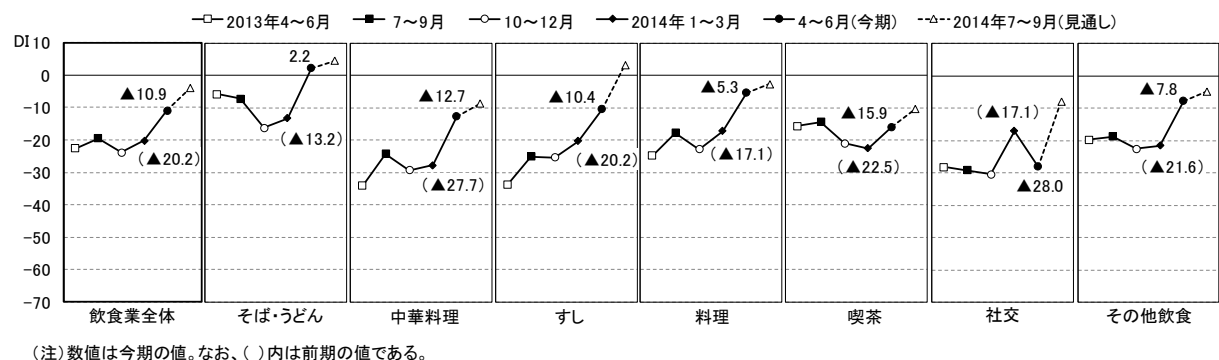


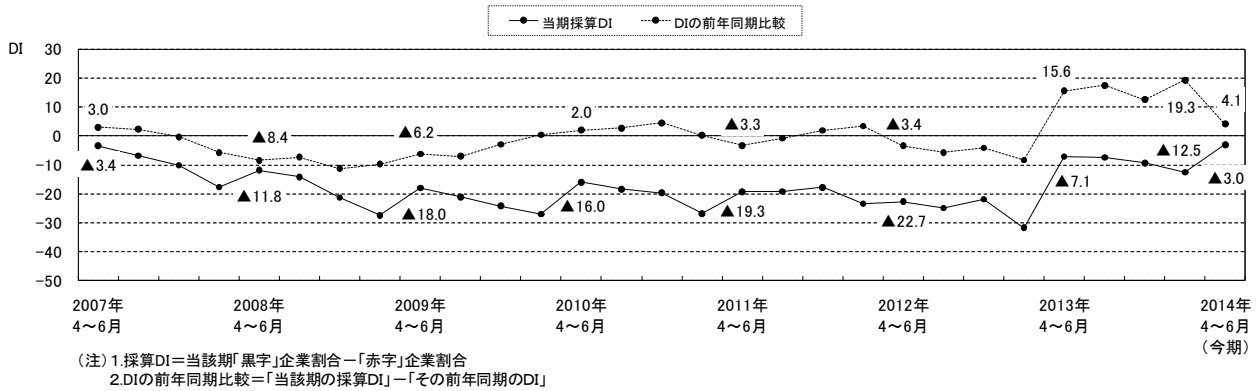
図 I - 1 - ③ 飲食業売上DIの推移



2. 採算

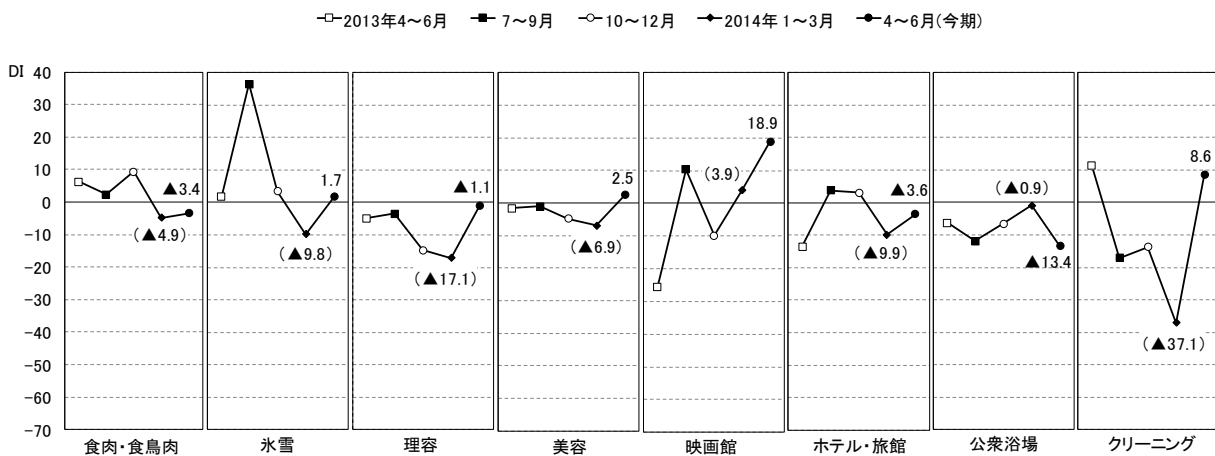
- 採算DIは、前期から9.5ポイント上昇して▲3.0となり、前年同期に対しては4.1ポイント上回りました。5期連続で前年同期の水準を上回りました。

図 I - 2 - ① 採算DIの推移（全業種計）



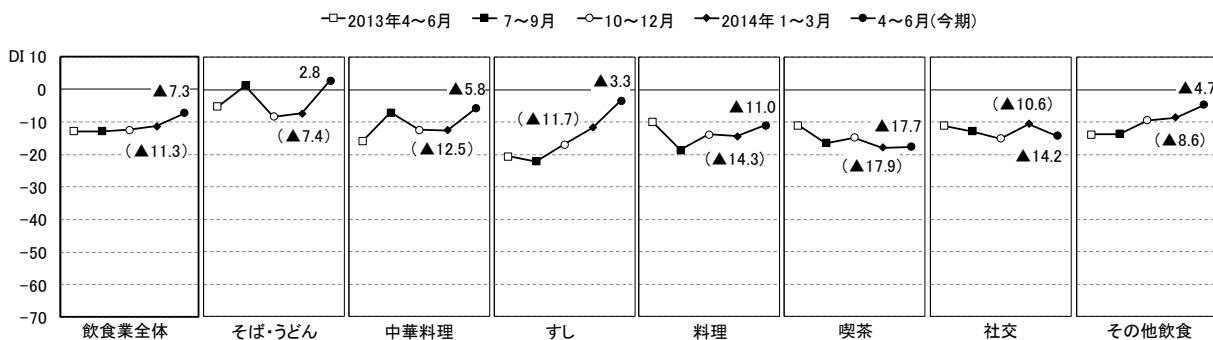
- 業種別にみると、前期に比べ「飲食業」「食肉・食鳥肉販売業」「冰雪販売業」「理容業」「美容業」「映画館」「ホテル・旅館業」「クリーニング業」の8業種で上昇しました。前年同期に対しては、「飲食業」「理容業」「美容業」「映画館」「ホテル・旅館業」の5業種で上回りました。
- 飲食業の業種別では、前期に比べ、「そば・うどん店」「中華料理店」「すし店」「料理店」「その他飲食店」の5業種で上昇しました。前年同期に対しては、「そば・うどん店」「中華料理店」「すし店」「その他飲食店」の4業種で上回りました。

図 I - 2 - ② 業種別採算DIの推移（飲食業を除く）



(注) 数値は今期の値。なお、()内は前期の値である。

図 I - 2 - ③ 飲食業採算DIの推移

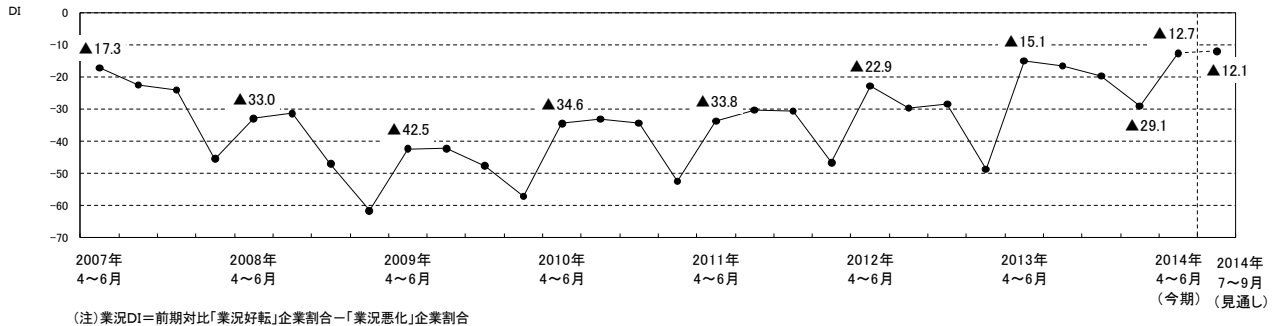


(注) 数値は今期の値。なお、()内は前期の値である。

3. 業況判断

- 業況判断DIは、前期から16.4ポイント上昇して▲12.7となり、前年同期に対しては2.4ポイント上回りました。5期連続で前年同期の水準を上回りました。
来期の見通しは、▲12.1となり、0.6ポイントの上昇を見込んでいます。

図 I - 3 - ① 業況判断DIの推移（全業種計）



- 業種別にみると、前期に比べ、「飲食業」「冰雪販売業」「理容業」「美容業」「映画館」「ホテル・旅館業」「クリーニング業」の7業種で上昇しました。前年同期に対しては、「飲食業」「理容業」「映画館」の3業種で上回りました。
来期の見通しは、「飲食業」「食肉・食鳥肉販売業」「冰雪販売業」「理容業」「美容業」「ホテル・旅館業」「公衆浴場業」の7業種で上昇を見込んでいます。
- 飲食業の業種別では、前期に比べ、全業種で上昇しました。前年同期に対しては、「そば・うどん店」「中華料理店」「すし店」「料理店」「社交業」「その他飲食店」の6業種で上回りました。
来期の見通しは、「中華料理店」「すし店」「料理店」「喫茶店」「社交業」「その他飲食店」の6業種で上昇を見込んでいます。

図 I - 3 - ② 業種別業況判断DIの推移（飲食業を除く）

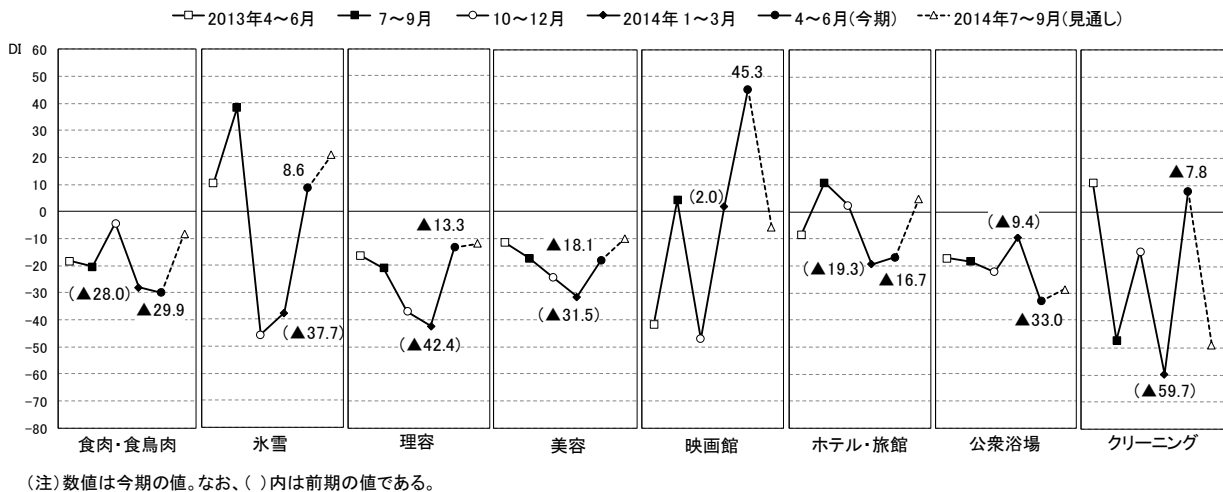
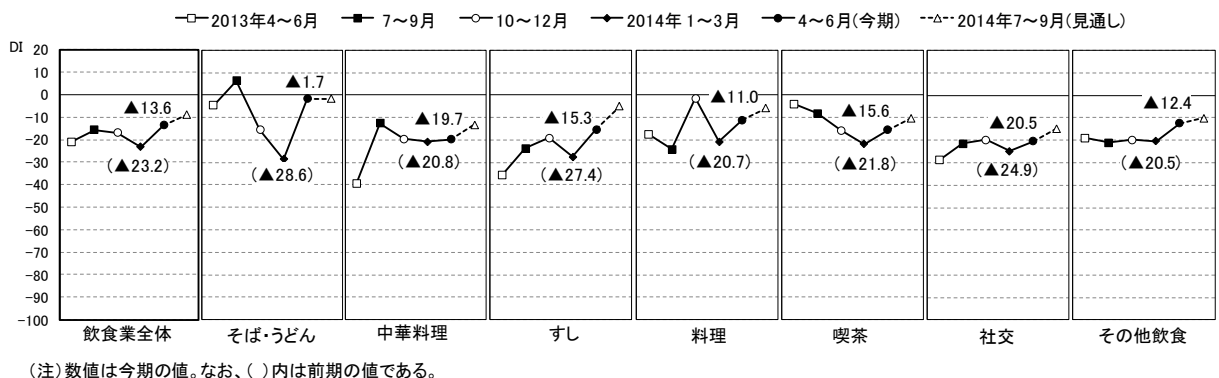


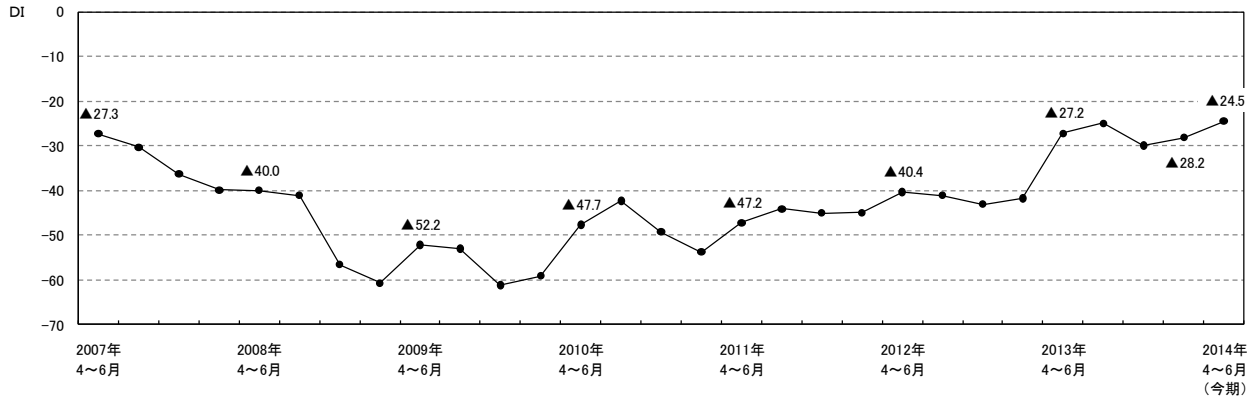
図 I - 3 - ③ 飲食業業況判断DIの推移



4. 利用客数

- 利用客数D Iは、前期から3.7ポイント上昇して▲24.5となり、前年同期に対しては2.7ポイント上回りました。11期連続で前年同期の水準を上回りました。

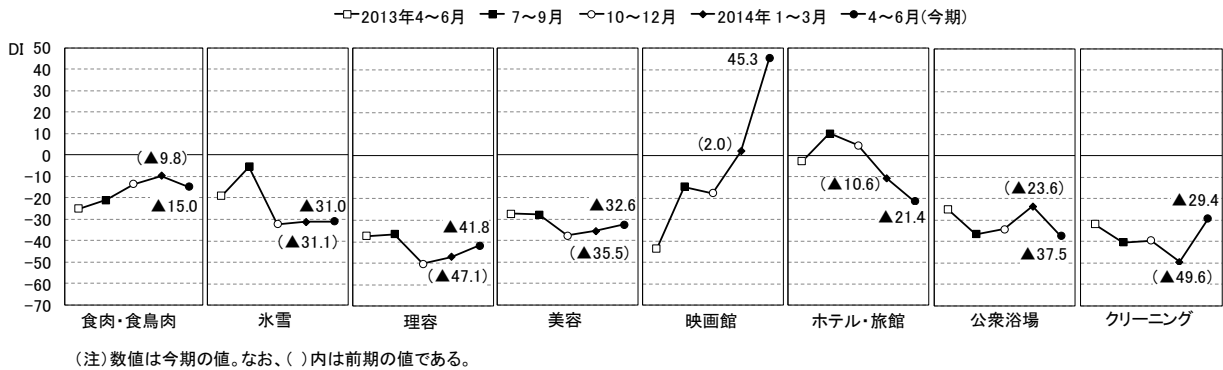
図 I - 4 - ① 利用客数D Iの推移（全業種計）



(注) 利用客数DI=前年同期対比「利用客数増加」企業割合-「利用客数減少」企業割合

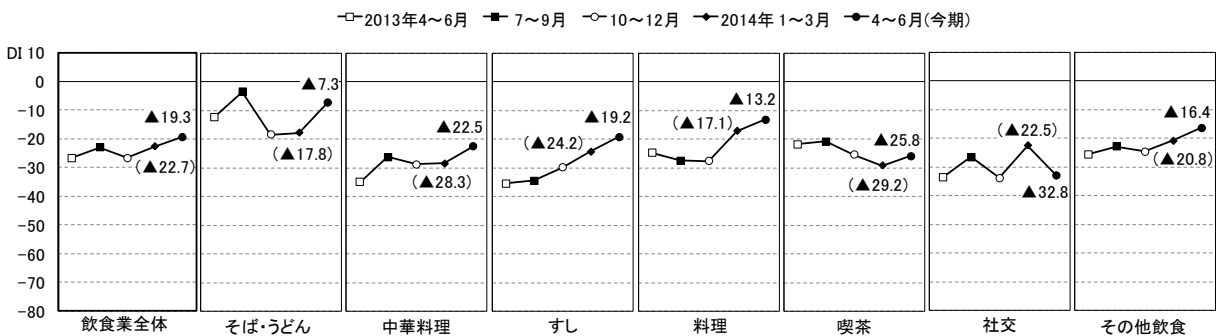
- 業種別にみると、前期に比べ、「飲食業」「理容業」「美容業」「映画館」「クリーニング業」の5業種で上昇しました。前年同期に対しては、「飲食業」「食肉・食鳥肉販売業」「映画館」「クリーニング業」の4業種で上回りました。
- 飲食業の業種別では、前期に比べ、「そば・うどん店」「中華料理店」「すし店」「料理店」「喫茶店」「その他飲食店」の6業種で上昇しました。前年同期に対しては、「そば・うどん店」「中華料理店」「すし店」「料理店」「社交業」「その他飲食店」の6業種で前年同期の水準を上回りました。

図 I - 4 - ② 業種別利用客数D Iの推移（飲食業を除く）



(注) 数値は今期の値。なお、()内は前期の値である。

図 I - 4 - ③ 飲食業利用客数D Iの推移

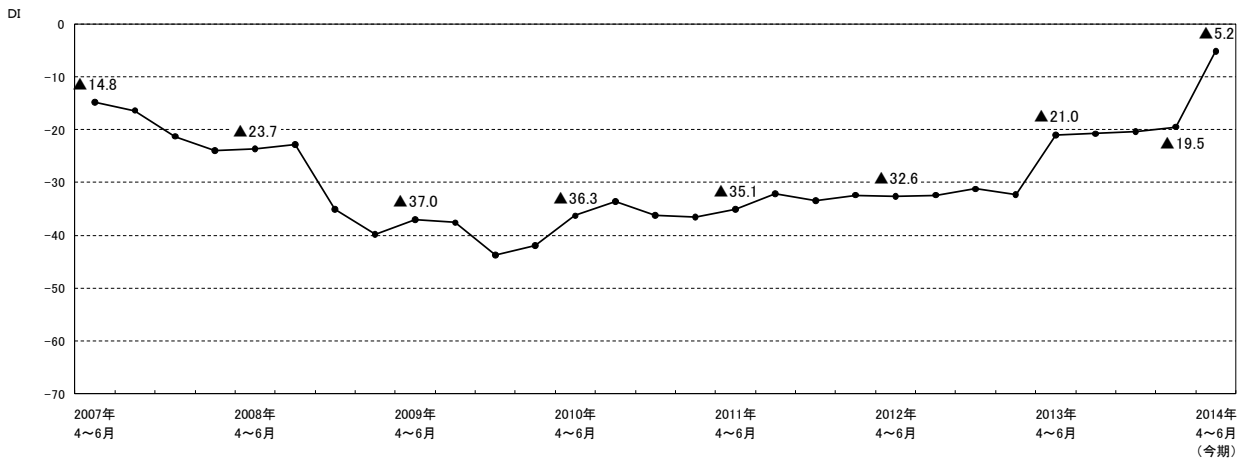


(注) 数値は今期の値。なお、()内は前期の値である。

5. 客単価

- 客単価DIは、前期から14.3ポイント上昇して▲5.2となり、前年同期に対しては15.8ポイント上回りました。5期連続で前年同期の水準を上回りました。

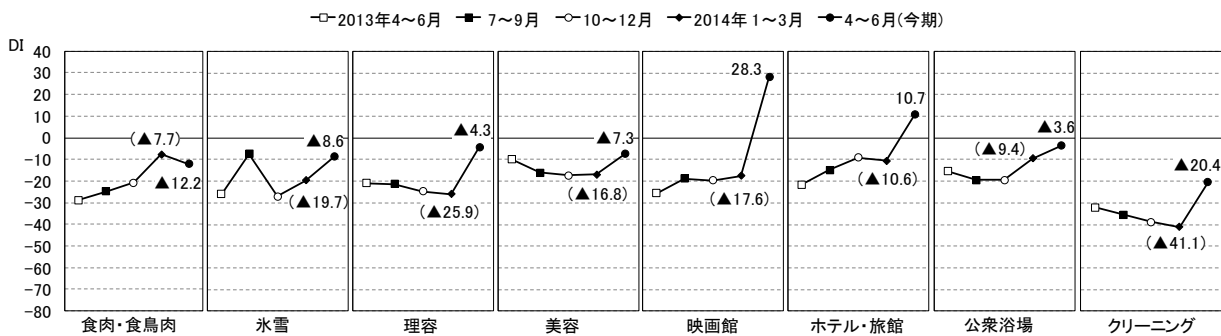
図 I - 5 - ① 客単価DIの推移（全業種計）



(注) 客単価DI=前年同期対比「客単価上昇」企業割合-「客単価低下」企業割合

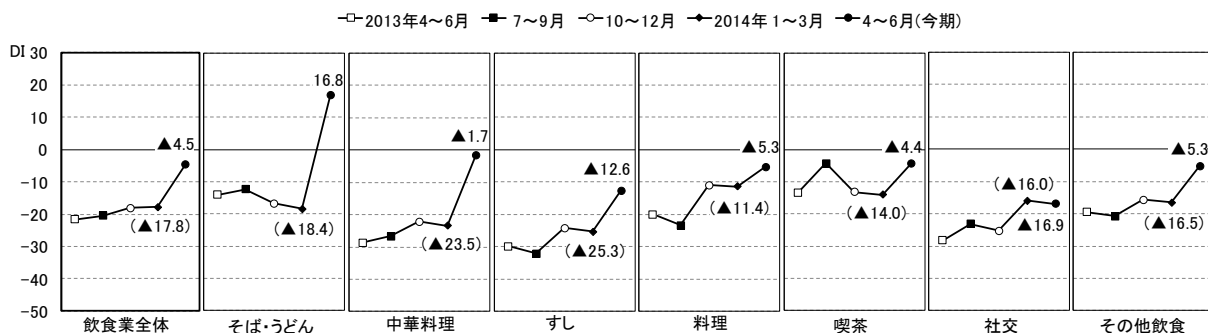
- 業種別では、前期に比べ、「飲食業」「冰雪販売業」「理容業」「美容業」「映画館」「ホテル・旅館業」「公衆浴場業」「クリーニング業」の8業種で上昇しました。前年同期に対しては、全業種で上回りました。
- 飲食業の業種別では、前期に比べ、「そば・うどん店」「中華料理店」「すし店」「料理店」「喫茶店」「その他飲食店」の6業種で上昇しました。前年同期に対しては、全業種で上回りました。

図 I - 5 - ② 業種別客単価DIの推移（飲食業を除く）



(注) 数値は今期の値。なお、()内は前期の値である。

図 I - 5 - ③ 飲食業客単価DIの推移



(注) 数値は今期の値。なお、()内は前期の値である。

II 設備投資の動向

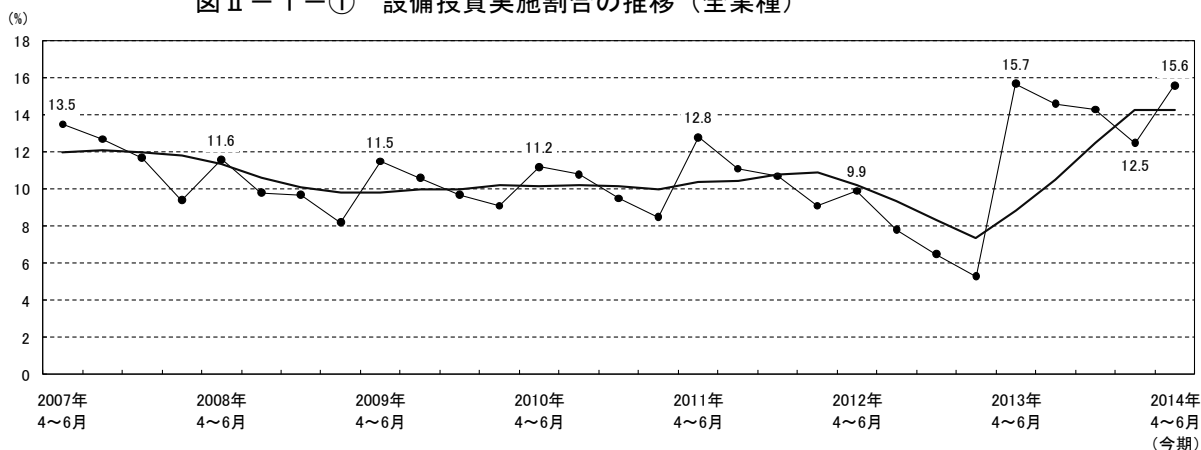
1. 設備投資の実施状況

(1) 設備投資の状況

今期（2014年4～6月期）に設備投資を行った企業の割合は15.6%と前期（12.5%）に比べ3.1ポイント上昇しました。前年同期（15.7%）に対しては0.1ポイント低下しました。

生活衛生関係営業の設備投資は、持ち直しの動きが続いています。

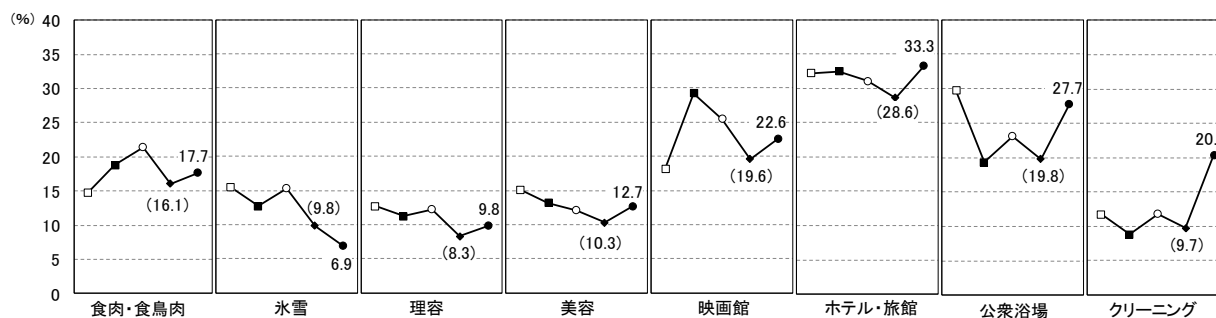
図Ⅱ-1-① 設備投資実施割合の推移（全業種）



- 設備投資を実施した割合を業種別に高い順にみると、「ホテル・旅館業」33.3%、「公衆浴場業」27.7%、「映画館」22.6%となっています。「食肉・食鳥肉販売業」「映画館」「ホテル・旅館業」「クリーニング業」の4業種で前年同期の水準を上回りました。
- 飲食業の業種別に設備投資を実施した割合を高い順にみると、「料理店」22.1%、「中華料理店」17.3%、「すし店」15.8%となっています。「そば・うどん店」「すし店」「料理店」「その他飲食店」の4業種で前年同期の水準を上回りました。

図Ⅱ-1-② 業種別設備投資実施割合の推移（飲食業を除く）

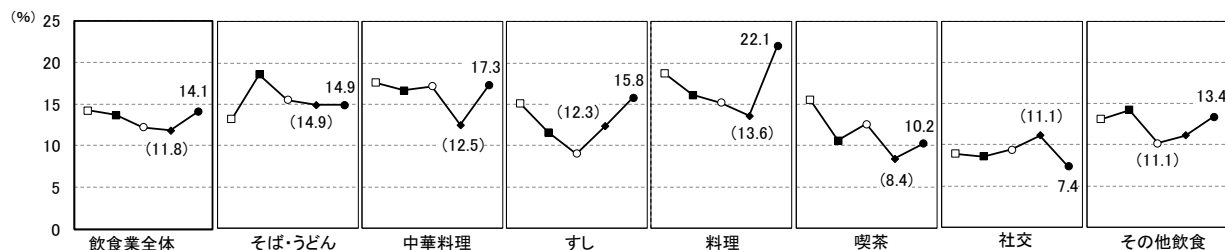
□ 2013年4～6月 ■ 7～9月 ○ 10～12月 ▲ 2014年1～3月 ● 4～6月(今期)



(注) 数値は今期の値。なお、()内は前期の値である。

図Ⅱ-1-③ 飲食業設備投資実施割合の推移

□ 2013年4～6月 ■ 7～9月 ○ 10～12月 ▲ 2014年1～3月 ● 4～6月(今期)

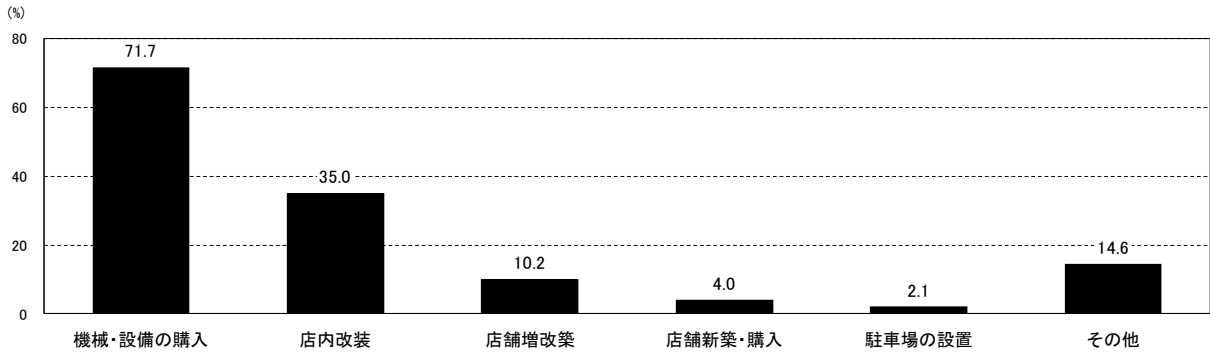


(注) 数値は今期の値。なお、()内は前期の値である。

(2) 設備投資の内容

- 設備投資の内容は、「機械・設備の購入」71.7%、「店内改装」35.0%、「店舗増改築」10.2%の順となっています。

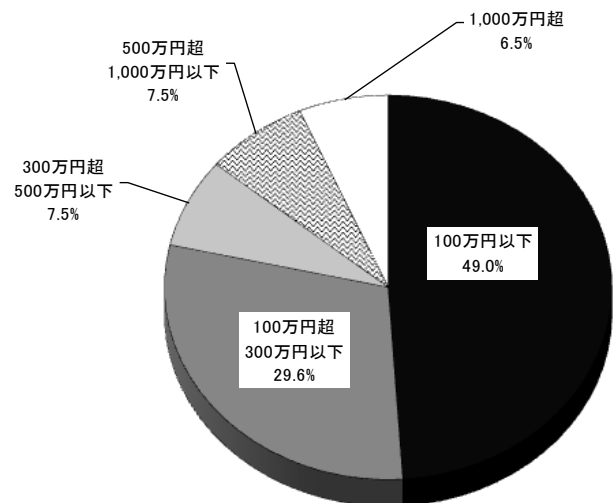
図Ⅱ-1-④ 設備投資の内容（全業種、複数回答）



(3) 設備投資金額

- 設備投資を行った企業の投資金額をみると、「100万円以下」49.0%、「100万円超300万円以下」29.6%、「300万円超500万円以下」7.5%となっており、500万円以下の小口投資が86.0%を占めました。
一方、「500万円超1,000万円以下」7.5%、「1,000万円超」6.5%となっています。

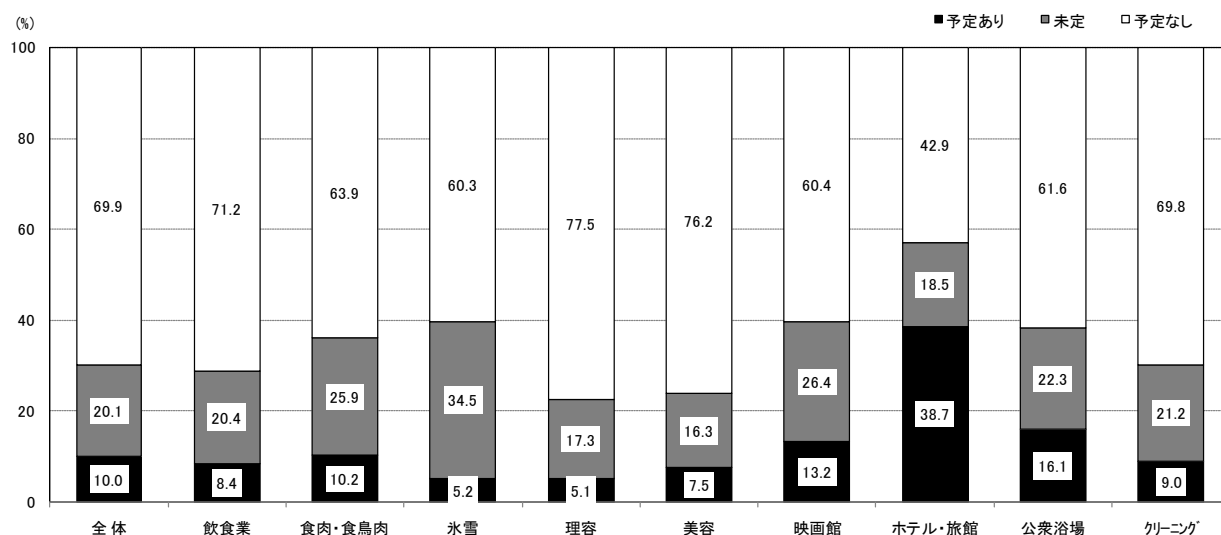
図Ⅱ-1-⑤ 設備投資金額（全業種）



2. 来期以降1年間の設備投資計画

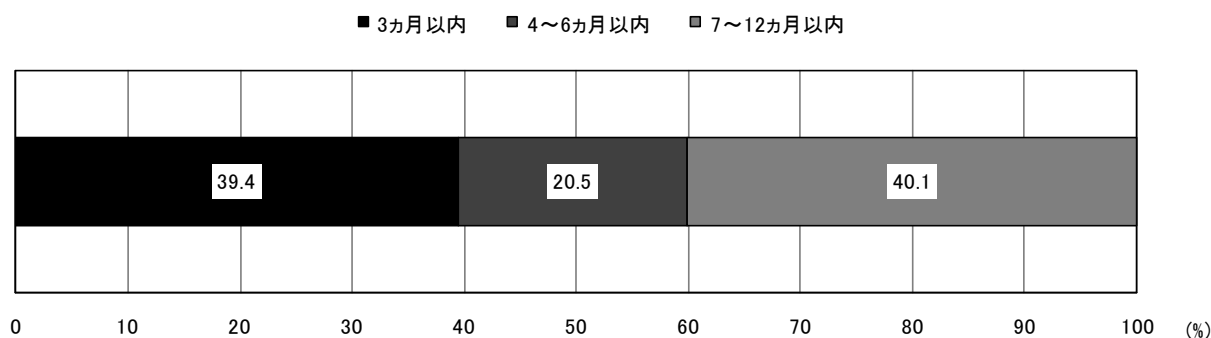
(1) 計画の有無

- 来期以降1年間の設備投資計画については、「予定あり」10.0%、「未定」20.1%、「予定なし」69.9%となっています。「予定あり」の企業割合は前期(9.8%)から0.2ポイント上昇、前年同期(12.2%)に対しては2.2ポイント低下しました。
- 設備投資を「予定あり」とする企業を業種別に高い順にみると、「ホテル・旅館業」38.7%、「公衆浴場業」16.1%、「映画館」13.2%となっています。



(2) 設備投資の実施予定時期

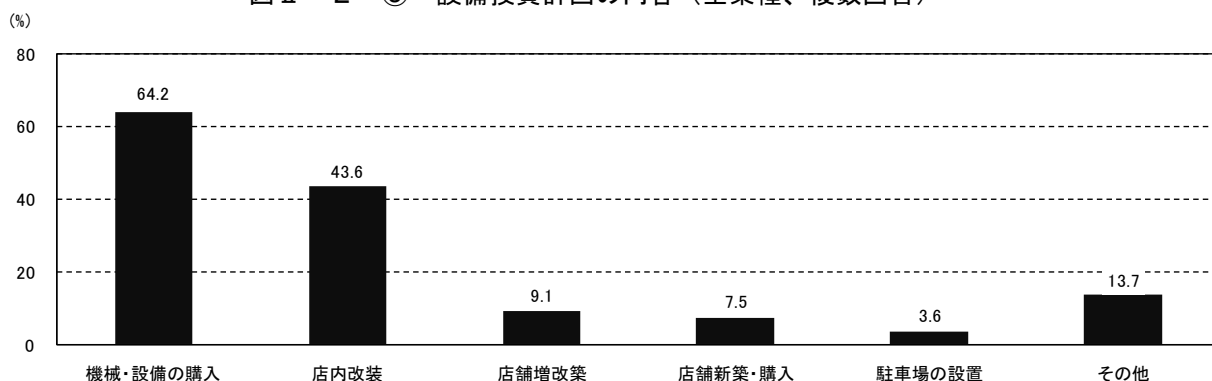
- 設備投資計画で「予定あり」と回答した企業について、実施予定時期をみると、「3ヵ月以内」39.4%、「4～6ヵ月以内」20.5%、「7～12ヵ月以内」40.1%となっています。



(3) 設備投資計画の内容

- 設備投資計画の内容は、「機械・設備の購入」64.2%、「店内改装」43.6%、「店舗増改築」9.1%の順となっています。

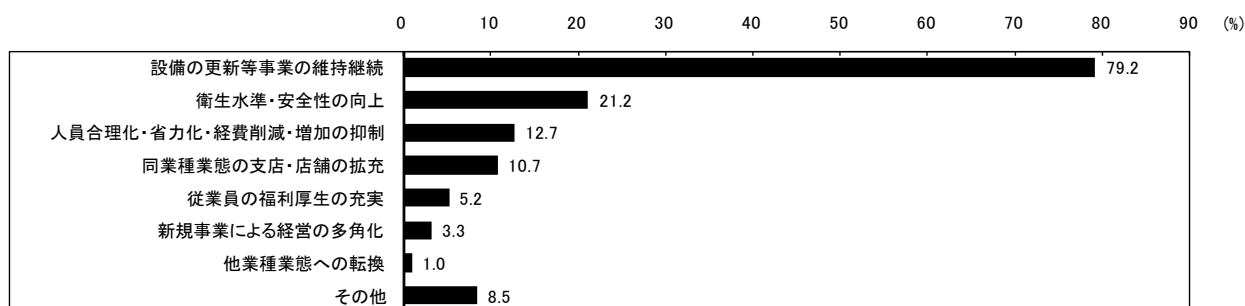
図Ⅱ－２－③ 設備投資計画の内容（全業種、複数回答）



(4) 設備投資計画の動機

- 設備投資計画の動機は、「設備の更新等事業の維持継続」79.2%、「衛生水準・安全性の向上」21.2%、「人員合理化・省力化・経費削減・増加の抑制」12.7%の順となっています。

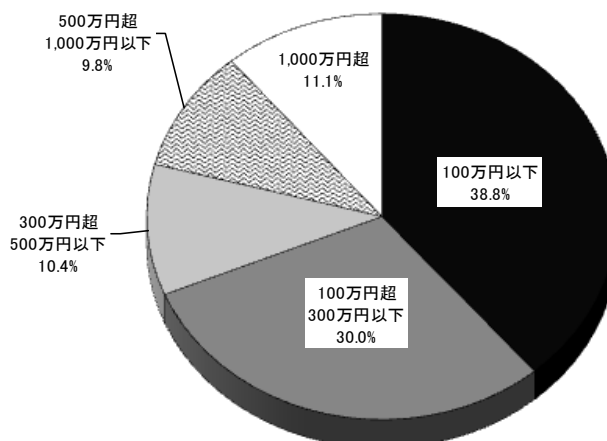
図Ⅱ－２－④ 設備投資計画の動機（全業種、複数回答）



(5) 設備投資予定金額

- 設備投資予定額は、「100万円以下」38.8%、「100万円超 300万円以下」30.0%、「300万円超 500万円以下」10.4%となっています。500万円以下の小口投資は、全体の79.2%を占めています。

図Ⅱ－２－⑤ 設備投資予定金額（全業種）



Ⅲ 経営上の問題点

- 経営上の問題点で多いものを順にみると、「顧客数の減少」54.6%、「仕入価格・人件費等の上昇を価格に転嫁困難」39.2%、「店舗施設の狭隘・老朽化」23.4%、「客単価の低下」19.9%、「従業員の確保難」18.8%となっています。
- 「ホテル・旅館業」は「店舗施設の狭隘・老朽化」、「そば・うどん店」「中華料理店」「その他飲食店」「食肉・食鳥肉販売業」は「仕入価格・人件費等の上昇を価格に転嫁困難」、その他の業種では「顧客数の減少」を第1位としてあげています。

表 経営上の問題点（業種別、2014年4～6月）

(%)

項目	顧客数の減少	転等仕 嫁の入 困上価 難昇格 を・価 格人 件費	老 店 朽 化	客 単 価 の 低 下	従 業 員 の 確 保 難	後 継 者 難	事 業 資 金 借 入 難	そ の 他	特 に 問 題 な し
業種合計	54.6	39.2	23.4	19.9	18.8	10.3	4.2	3.4	7.2
飲食業合計	48.7	46.3	21.7	18.9	22.3	8.8	5.2	2.0	7.0
そば・うどん店	44.2	49.2	23.2	13.8	26.0	9.9	7.2	2.8	5.5
中華料理店	45.1	53.8	20.8	18.5	23.7	8.1	6.9	0.0	6.9
すし店	48.6	38.8	21.3	18.6	23.0	8.2	4.4	1.6	11.5
料理店	46.8	41.6	18.8	27.9	25.3	14.3	5.2	1.3	5.2
喫茶店	53.2	50.5	29.6	12.9	12.4	12.9	3.2	3.8	3.8
社交業	58.4	32.1	14.2	22.1	28.4	6.8	4.7	1.6	9.5
その他飲食店	46.5	51.7	22.5	19.3	20.3	5.9	5.2	2.2	6.7
食肉・食鳥肉販売業	38.8	52.4	23.1	21.1	15.0	10.9	5.4	2.0	8.8
氷雪販売業	48.3	24.1	34.5	31.0	6.9	19.0	3.4	5.2	8.6
理容業	72.1	19.8	21.1	22.2	11.7	14.6	1.6	6.5	8.4
美容業	62.1	24.3	16.6	18.8	25.9	10.9	4.5	5.2	8.6
映画館	58.5	30.2	41.5	9.4	24.5	7.5	5.7	3.8	1.9
ホテル・旅館業	41.7	32.7	50.0	19.6	23.8	8.3	3.0	4.2	3.0
公衆浴場業	74.1	41.1	42.0	5.4	1.8	12.5	1.8	2.7	5.4
クリーニング業	60.0	52.9	16.1	30.2	4.3	10.2	2.4	3.5	7.1

(注)複数回答のため合計は100を超える。

IV 特徴的な業況判断理由（業種・地域別）

今期および来期見通しの業況に対する判断理由（地域経済、業界の特徴および経営面での取り組みを含みます。）について、特徴的なものを取りまとめると次のとおりです。

今期：2014年4～6月期 来期：2014年7～9月期

◆飲食業

業種	業況	地域	判断理由
そば・うどん店	今期	好転	愛知県 老人会、自治会、グランドゴルフの施設等に弁当を納め始めた。また、ポイントカードを発行したところリピーターが増えた。
		不変	山形県 増税の影響で売上が減少すると思われたが、予想より落ち込みはなかった。
		悪化	宮崎県 消費増税による消費の低迷と、主力商品であるワンコインランチを550円にせざるをえなかったことから、多少の影響を受けた。
	来期見通し	好転	大阪府 原材料を国内産に特化し、季節感のあるメニューを提供するなど、食の安全と旬の食材の提供を心掛け、お客様の最良を得ている。
		悪化	鹿児島県 最近、家族連れの来客が減少している。顧客ニーズに合わせたメニュー作りを行わないと売上がつながらない。
中華料理店	今期	好転	岩手県 酒販メーカーの協力を得てメニュー表を作った。居酒屋の様にアルコール類とノンアルコールをアピールし、おつまみも分かりやすく表示したところ夜の部の売上が増えた。
		不変	兵庫県 店舗改装に伴い、新メニューを開発した。コース料理と人気メニューは価格を据え置いた。顧客の反応は良く、現状維持が図れた。
		悪化	富山県 消費税アップや外食を控える動き等の影響が徐々に出てきている。
	来期見通し	好転	香川県 1部上場企業の好業績による宴会などの増加に期待したい。
		悪化	岩手県 6月からスマートフォンで当店の紹介を始めたが、それを見て数組のお客様が来店した。
すし店	今期	好転	広島県 ガソリンなど諸経費の値上がりを受け、メニューの価格を上げたことがお客様の減少につながっている。
		不変	秋田県 昨年、漁業組合に加入し、自分で釣り上げた魚を直接店に出せるようになった。鮮度、種類等からお客様に大変喜ばれ、売上が伸びた。ユニークなすし店としてテレビに取り上げられ、来客数が増えた。
		悪化	北海道 増税の影響を大きく受けると思ったが、来店されるお客様に影響は出ていない。一方で、出前が減少している。
	来期見通し	好転	群馬県 消費増税分を価格に転嫁したが、夜の客が激減した。昼のランチが主流となり四苦八苦している。
		悪化	千葉県 群馬県太田市の自動車産業の業績が好調であり、来期も引き続き好調と考えている。
料理店	今期	好転	石川県 消費増税で売上の減少を予想したがそれ程でもなかった。ほとんどが固定客なので、あまり変化はないと思っている。
		不変	愛媛県 業界の景気が以前のように良くなるとは思えない。経費を削減し出費を抑え、貯金や年金で維持していかざるをえない。
料理店	今期	好転	北陸新幹線の開業を見据え、街に賑わいが出てきた。観光客の増加により利用客数が大幅に増え、客単価も増加傾向にある。
		不変	愛媛県 タウン誌に広告を出し、当店のことを知ってもらえるようイベントに参加して新規顧客の獲得に努めている。常連客の減少が続いており、現状維持が精一杯である。

		悪化	群馬県	4月、5月は例年通りであったが、6月に入り宴会も宿泊もなくなった。
	来期見通し	好転	栃木県	接待による社用での予約が少しずつ出てきている。回復の可能性を感じている。
		不変	徳島県	消費増税後も大きな減少はなく、来客数も以前と同程度にまで戻っている。コース料理では一品ごとの量を調整して少し値段を引き下げる予定である。
		悪化	島根県	夏期は会合等の行事が少なくなるため減少するのではないかと。
喫茶店	今期	好転	群馬県	地域のイベントやインターネットを利用して店の情報を発信し続けた成果が表れた。インターネットの情報発信は遠方のお客様の集客につながっている。
		不変	岡山県	町内の固定客中心で変化はない。
		悪化	和歌山県	近くにコンビニエンスストアが2軒あり、喫茶の来店が大幅に減少した。
	来期見通し	好転	鹿児島県	開業して数年が経過し、ようやく安定してきた。これまでに実施したいと思っていたWEBでのコーヒー豆の販売等を軌道に乗せることで売上増加を目指している。
		不変	福島県	店舗はオフィス街にあり、消費増税後も平日のランチタイムの集客は順調であったが、一部増税分を価格転嫁しなかったメニューもあり、今後の売上に不安が残る。新たな試みとして4月から土日祝日の全席完全禁煙を実施し、家族連れの集客に努めている。
		悪化	千葉県	低価格店が近くに出店したため、客数の減少が予想される。
社交業	今期	好転	福岡県	7月の博多山笠に向けて、事前に常連客に扇子や手拭き等の記念品を配った効果が出た。新規顧客の紹介依頼や開拓にも力を入れた。
		不変	静岡県	富士山の世界文化遺産への登録以降、周辺の宿泊施設の状況がやや良くなっている、今後当業界としてもイベントを開催し、お客様を迎えていきたい。
		悪化	奈良県	消費増税分の価格を転嫁できなかったことと、優秀な人材を確保するために人件費をアップさせたことが響いた。今後、従業員が戦力になり、マイナス分はカバーできると信じている。
	来期見通し	好転	宮崎県	店内の雰囲気や気を配り、ホステスの接客マナーを向上し、付け出し等で旬のものを提供するなど、お客様の期待に応えるようにしている。
		不変	鳥取県	都会では景気が好転しているようだが、当地域は変わらない。
		悪化	大阪府	馴染み客は高齢化しており来店頻度が減少傾向にある。若いお客様を呼び込むべく若いホステスを募っても、雇用が難しい。
その他飲食店	今期	好転	岩手県	4月にホームページを立ち上げ、フェイスブックページも始めた。また、店内でのライブ開催（月に1回）やワイン祭り（3ヶ月に1度の定期開催）を実施し、話題を提供することで、お客様とのコミュニケーションに努めた。成果が徐々に表れている。
		不変	埼玉県	売上は以前より増えているが、アルバイトの人件費や採用関係費用の負担により実質的な収益の増加に結びついていない。
		悪化	秋田県	中心市街地のメイン通りに立地しているが、夜は人通りがない。上向く兆しが見られない。
	来期見通し	好転	三重県	三重の地酒等が人気を呼び、口コミにより予約客が増加している。
		不変	島根県	遷宮効果が一巡し、観光客が減少している。
		悪化	栃木県	消費増税の影響が大きい。仕入価格の上昇の価格転嫁も難しい。

◆食肉・食鳥肉販売業

業種	業況	地域	判断理由	
食肉販売業	今期	好転	埼玉県	小売部門のお客様の動向や売上に大きな変化は見られない。昨年秋

				から卸売先が増加し、トータルで売上は大きく増えている。
		不変	徳島県	一番暇な時期であるが、対面販売の強みを生かし、肉の販売だけでなく「今夜のおかず」の情報提供を進めている。田舎のお店なのでお客様の嗜好も把握しやすく、食肉関連の質問にも対応している。
		悪化	鹿児島県	肉の仕入価格が上昇し経営は大変である。特に豚流行性下痢により豚肉の仕入価格が上がる中、販売価格を据え置いているが、消費税アップが重なり厳しい状況である。
	来期見通し	好転	岡山県	新規に開店したスーパーが取引先になり、売上は増加した。
		不変	宮崎県	豚の伝染病の影響で子豚の生育が全国的に悪く、市場に出回る豚が少なくなっている。来期にかけても影響が出る見通しである。
		悪化	山形県	競合店の増加と原材料費の高騰により悪化が続いている。
食鳥肉販売業	今期	好転	福岡県	当店は、新鮮な冷凍していない屠鳥をその日に店頭販売しているため、「新鮮な鶏屋」として知られている。今期は、地元のイベントや祭りがあり、売上が伸びた。
		不変	愛知県	客数はそれ程変化していないが、客単価が減少している。
		悪化	京都府	飲食店は仕入れにシビアで、安価な商品を求める傾向にあり、売上の減少がひどい。消費税増税の影響を大いに受けている。
	来期見通し	好転	愛知県	客数の変化があまりない中、客単価が戻りつつある。
		不変	京都府	飲食店向けの販売が多いため、外食に対する需要が上がらないと先行きは暗い。
		悪化	岡山県	売上は伸びているが、燃料費の高騰により収支が悪化している。どのように対応したら良いのか分からない。

◆氷雪販売業

業種	業況	地域	判断理由	
氷雪販売業	今期	好転	神奈川県	4月に入り天候も比較的安定し、イベント等も回復しつつある。5、6月ともに順調に推移している。
		不変	東京都	新規得意先獲得のため、営業を強化している。消費増税前に仕入コストが増える商品群については値上げ交渉を実施している。
		悪化	大阪府	飲食店、喫茶店で、不況や後継者難等での閉店が増え、昔からの得意先が減りつつある。
	来期見通し	好転	福井県	今年は暑くなることからイベント関係も増えるので業況は良くなると思う。
		不変	東京都	今期は景気回復の恩恵を受けることができそうだが、来期は一服感がでるのではないかと。特にバブル崩壊以降、飲食店の好景気は長続きしない傾向にあるので、来期は不透明である。
		悪化	神奈川県	エルニーニョの影響（温暖化）で大雨になるとイベントが中止になり、売上が大幅にダウンする。

◆理容業

業種	業況	地域	判断理由	
理容業	今期	好転	青森県	インターネットやニュースレター等で、サービスのメニューや内容を発信しており、客数や客単価が伸びている。
		不変	宮崎県	理容イスを新しくした。また、需要を見込みエステマシンなどを導入して新たなメニューを制作中である。
		悪化	広島県	広島駅前再開発が始まり、8ブロック、500世帯が工事のため移転・廃業になるなどしたため、商いを行える状況ではなくなった。工事は約2年半続いたため、営業を続けることは困難である。工事終了後には約2万人の居住が新たに見込めることとなっているものの、見通しは暗い。

	来期 見通し	好転	長野県	8月に店舗を改装し、リアシャンプーボール、理容椅子を入れ替える。また、トイレも身体に障害のあるお客様にも安心してご来店いただけるよう整備する予定である。リラクゼーションのメニュー開発と技術講習を行い、これまで以上の売上増加に期待している。
		不変	山口県	顧客一人一人に丁寧な施術をして、激安店へ流れているお客様が戻ってくるように努める。また、女性客へのウェディング・シェービング等に力を入れ、現状維持を図る。
		悪化	山梨県	社会福祉施設や高齢者宅への出張理容など、何か新しいサービスの方法を考える必要があると思う。店でお客様が来るのを待っている状況では厳しくなる一方である。

◆美容業

業種	業況	地域	判断理由	
美容業	今期	好転	東京都	消費増税のタイミングを他店との差別化の機会と捉え、お客様に高品質の材料を使用していることをPRしたことが功を奏した。
		不変	秋田県	消費増税で顧客数は減少したが、店舗改装によりお客様がゆったりとした中で心地良く施術できるようになり利用回数が増えた。
		悪化	愛知県	消費増税により回転率が下がり、また、安売りサロンの進出によりお客様の数が減少した。
	来期 見通し	好転	京都府	給与体系を見直し、週40時間労働に向けて週2回、3時間の出・退時間で調整するなど、勤務面での改善に取り組んでいる。スタッフの意欲を高めることで好転させたい。
		不変	長崎県	来客は減少しているが、店売商品に力を入れ、ヘッドスパも導入して売上を維持している。DM、メール、PCを使い、宣伝、アフターケアに注力する。
		悪化	香川県	消費増税により、来店サイクルが1ヶ月程度遅れている。今年はブライダル関係の予約が、昨年度より入っているため、不足分をカバーできるのではないかと考える。

◆映画館・劇場

業種	業況	地域	判断理由	
映画館	今期	好転	静岡県	当期前半に「アナと雪の女王」が大ヒットし、その集客が他の映画も牽引した。
		不変	東京都	今期はヒット作品を扱わなかったため概ね横ばいで推移している。
		悪化	岡山県	割引の企画などを行ったが、ヒット作も少なかったため、客数が大幅に減少した。
	来期 見通し	好転	岐阜県	来期は夏興行のシーズンであり、今年も有望な大作が並んでいる。特にハリウッド版「GODZILLA」が大きくリードしてくれると思う。また、郊外シネコンとは異なるアート系のフランス映画などの番組編成にも傾注したい。
		不変	愛知県	今年に入り、シニア層、中年層に加え大学生の来館が少し増加傾向にある。若者層の開拓が今後の課題である。
		悪化	香川県	消費税増税の影響が顕著になるとみている。

◆ホテル・旅館業

業種	業況	地域	判断理由	
ホテル・旅館業	今期	好転	福井県	特に今年は6月に結婚式が多かった。インターネットを活用し宿泊プランの拡大にも力を入れた。
		不変	宮城県	今年3月以降は客数の減少が止まらない。震災2年目までは応援旅行で伸びたが、3年目に入り一巡した感がある。特に関東方面から

		悪化	島根県	のお客様の減少が顕著である。 客数の減少、とりわけウエイトの大きい学校や企業の団体客が減少している。
		好転	山形県	山形DC（ディスティネーションキャンペーン）のリピーターが来るので業況は好転する。
	来期見通し	不変	北海道	消費税を添加すると予約がキャンセルとなる。カプセルホテルが低料金で宣伝しているため、固定客を逃がさないようにメール等で接触を続けているが、現状維持が精一杯である。
		悪化	福島県	消費税増税分を価格転嫁したがその反動が大きく影響し、利用客が減少した。風評被害がある福島にわざわざ足を運んでもらうためには、宿泊料金を増税前に戻すか、利益を削ってでもそれ以下の料金に変更し、顧客確保に努めなければならない状況である。

◆公衆浴場業

業種	業況		地域	判断理由
公衆浴場業	今期	好転	愛知県	4月に入浴料金が400円から420円に引上げとなったが、客数はあまり変わらない。映画の「テレマエロマエⅡ」の影響もあって若者客が増えた。
		不変	滋賀県	銭湯業界は、燃料が高騰し、電気・水道代も年々上がり、売上と使用料を比較するとやっていけないのが実情である。試行錯誤を繰り返して何とか営業を維持している。
		悪化	兵庫県	顧客の減少傾向に歯止めが掛からない。公共料金、燃料、消費税アップで経営は苦しくなっている。
	来期見通し	好転	愛媛県	最低気温が20度を超えるようになると燃料費が少なくて済むうえ、汗をかくので来てもらえる回数が増えるため、売上収支ともに良くなると思う。
		不変	鹿児島県	40年ぶりに電気風呂を改装した。鹿児島では初めて、揉む、押す、叩く効果が実感できる電気風呂を投入した。集客を期待している。
		悪化	大阪府	スーパー銭湯の増加やデイサービスが普及する中、値下げで対応するものの、利用客の大幅減少は避けそうにない。

◆クリーニング業

業種	業況		地域	判断理由
クリーニング業	今期	好転	香川県	消費税増税により4月の売上に影響があると思われたが、大きく影響はなかった。
		不変	広島県	消費税、灯油等の原材料や、電気、水道等の経費上昇に対し、少し値上げをして何とか維持している。新たに、インターネットによる情報発信が遠方からの新規顧客の確保につながると期待している。
		悪化	栃木県	お客様の家庭処理などによるクリーニング店離れを感じている。客数も客単価も落ちている。
	来期見通し	好転	岡山県	大きな売上の増加は見込めないが、必要コスト、特に人件費の抑制により、利益率を向上できると考えている。
		不変	山形県	多少景気が上向いても、厳しい状況はそう変わらない。しみ抜きのお客様が増えてきているのが唯一の好材料である。
		悪化	山梨県	価格が低廉な大手の取扱店が増加し、固定客がそちらに流れている。ポイントサービスを実施したものの採算が取れず、このまま続けていくのが不安である。大手企業の作業服や和服まで幅広く取扱わないと、生き残れないのかと苦慮している。